



学校だより

令和4年度 4,5月号

学校法人松蔭学園
松蔭大学附属
松蔭高等学校
校長 川下 進

HP : <http://www.shoin.ed.jp/>

Blog : <http://www.shoin.ed.jp/category/information/>

『未来が誰にもわからない中で、

どれだけ自分を信じてあげられるか。

自分が信じたことを貫け。

そして、泣いて強くなれ。』

元サッカー日本代表の本田圭佑選手の言葉です。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。中学を卒業し、勉強と部活動の両立を上手くできるか不安だと思えます。しかし、いい成績を取り、部活で好成績を残せるとは限りません。未来は誰にもわからないのですから。自分を信じ、律することで結果はともあれ、素晴らしい「過程」を手にできます。結果だけを見つめるのではなく、そのプロセスを重視し、自己研鑽を絶えず行ってください。

●始業式・対面式を行いました●

4月8日(金)、体育館で始業式と対面式を行いました。始業式では、校長先生のお話と生活指導について、留意すべきことのお話がありました。校長先生は「啐啄の機」について、生徒自ら積極的に学ぶ姿勢が大切だと語られました。次に生徒会が主体となって、対面式が進められ、生徒会会長から新入生に向けての挨拶と副会長からクラブ加入の説明がありました。心温まる対面式となりました。



←対面式

●新しい先生の紹介●

この4月より新しく着任された先生方からのご挨拶です。

◇板橋拓也先生◇

小学2年生から、高校までは、サッカー部に所属し、大学では、サッカーサークルに所属していました。これまで、ほとんどサッカーしかやってきませんでした。高校のサッカー部では、30年ぶりの快挙である、県大会2次予選に出場することができました。この経験が一番記憶に残っています。松蔭学園に来て、まだ時間も経っておらず分からないことの方が多いと思いますが、皆さんの力になれるよう精一杯尽力しますので、よろしくお願い致します。

◇森田隆太先生◇

私は大学時代、様々なバイトをしながら子供たちに勉強を教えるボランティアサークルで活動していました。私自身インドア派のため、中学校での部活動以来、がっつりとスポーツはしてこなかったのですがスポーツ自体は得意ではないですが、体を動かすことは大好きです！趣味は、コロナ禍で暇になり見始めたアニメとやり始めた筋トレです。最近のアニメも昔のアニメも好きなので、生徒のみなさんとアニメの話で盛り上がりたなら、うれしいです。至らない点多々あるかと思いますが、生徒のため学校のために精一杯頑張りますので、これからどうぞよろしくお願い致します。

●体育祭代替行事 スポーツ大会●

新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、中止になりました体育祭の代替行事として、5月21日(土)本校校庭及び体育館等において、スポーツ大会を行いました。

学年ごとに紅白2チームに分け、前半の部では男子はフットサル、女子はバドミントン・ソフトテニス・卓球の各競技で熱戦を繰り広げました。後半では紅白それぞれのチームで回数を競う大縄跳び、先生方からの難問奇問に四苦八苦しながら取り組むウルトラクイズで学年の枠を超えて親睦を深めました。各競技の総合の結果、白チームの勝ちとなりました。

また、前後半の間には、『Love ☆ Queen』等の曲に合わせて、ダンス部員による演技が披露されました。

●進路資料室・自習室を

つかってみませんか? ●
受験指導部より

～進路資料室の紹介～

2号館2階(体育館への通路の手前)にある進路資料室には、大学・短大・専門学校のパンフレットはもちろん、受験に役立つ受験情報誌などが閲覧できます。また、入試の過去問題集(通称:赤本)も多数そろえています。赤本は貸し出しも行っていますので、受験生はもちろん、学年問わず足を運んでみてください。



進路資料室の入り口には、大学パンフレットがズラリと並んでいます。もちろん、自由に閲覧可です!

進路資料室の中には、専門学校の資料が、分野別に整理されているので、簡単に目的の資料を探すことができます!

大学入試問題過去問(通称:赤本)や受験情報誌も多数取り揃えています。赤本で気になる大学の過去問に気軽に挑戦してみよう!



～自習室(223)の紹介～

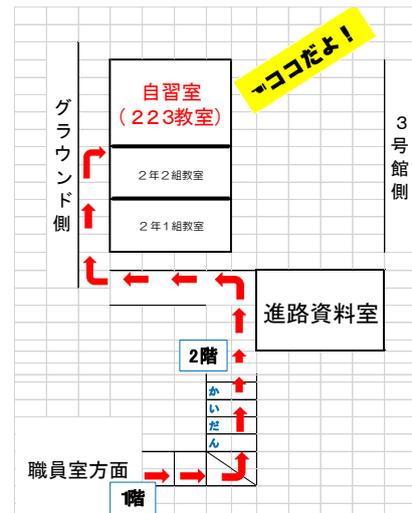
『校内で気兼ねなく勉強できる場所』

学校がある日は必ず使える自習室です。先生への質問後など「今勉強しておきたい」など思い立ったときに利用してみてください。長時間での勉強にも集中してもらえるように、クッションのあるイスと広々使える長机を備えています。



《利用時間と利用時の約束事》

- ・終礼後から17:30(土曜日は16:30まで)
- ・入口に利用者名簿があるので氏名等を記入すること
- ・利用する時間によっては、隣で授業をしている場合があるので、静かにすること
- ・食事は禁止。飲み物はふた付きのもののみ可
- ・スマホはマナーモードにして、基本的には使用禁止
- ・ここはあくまで「自分で学習するための部屋」です。友だちと相談しながら勉強したいときは、担任の先生に許可をもらい、クラスの教室を使うこと



●松蔭学園創立記念日にあたり●

松蔭学園は昭和十六年四月十八日に松浦昇平先生によって創立されました。今年で81周年を迎えます。

創設者の遺徳をしのび、本校の「建学の精神」に思いをいたし、誇りと自覚をもって日々の生活を送るようにしましょう。

『昭和十年代は、日本が急速に軍事化の道を歩みはじめたときであった。昭和十五年六月には、文部省は修学旅行の自粛を通達、十八年全面中止するなど、教育面においても大きな影響が出始めていた。

松浦昇平先生はあえてこの昭和十五年を学校設立元年と位置づけ、四月には現在地、世田谷区北沢に校地を定める。当時この辺りは民家もまばらで、特にここは荒地で、一面、熊笹や雑草が生い茂っていた。学校設立の理想に燃える先生は、自らも現場に立ち、鍬、シャベルを手にして地ならしを行い、校庭となる地の整備に力を注いだ。また、校舎設立のための資材探しに奔走する。ついには新聞広告だけをたよりに埼玉県飯能に工場の寮の解体材を求めた。

こうした努力が実り、翌十六年四月「松蔭女学校」は創立される。先生は全日制だけでなく、昼間学ぶことのできない者にも勉学の機会を与えるべく夜間部を併設した。先生の教育への志はあくまで深かった。しかしながら同年十二月には、太平洋戦争が始まり、内外の情勢は混沌とするばかりであり、学園をとりまく環境も厳しいものがあつた。また先生も草創期ゆえの苦労を重ねる。

昭和二十年八月に、日本の敗戦をもって第二次世界大戦は終了する。年を追うごとに民主化は進み、教育面においても二十三年の学制改革を契機に新しい教育のあり方が模索され始めた。

しかし、私学経営にとってこの時代は最も苦しいときであった。当時世相は乱れ、社会不安はつのり、国民もまた、衣食住ともに困窮を極めていた。そのような中で、松蔭学園は昭和二十三年四月には新たに「松蔭幼稚園」を開園し、《知行合一》の教育理念のもとに一貫教育の基礎作りを推し進めていった。学園が学校としての形態を確立するのは、昭和三十年代に入ってからともいえるが、この間においても先生の教育に対する情熱は少しの陰も見られず、「実践の人」といわれるとおり、当時まだ至難だった学校への電話敷設の実現をも果たしたり、また自ら常に箒をとり校舎の内外を掃いていたという。』

※ 本校の沿革については、学校HPでも閲覧できます。ぜひご覧ください。

[学園のあゆみ - 学校法人 松蔭学園 松蔭中学高等学校 \(shoin.ed.jp\)](#)